

「高度経済成長期教育史」研究部会（第8回）

日時：2022年11月18日（金）13:00～15:00

場所：オンライン

出席：米田俊彦・大島宏・須田将司・鳥居和代・西山伸 兼任研究員

山口和人所長・吉久知延・金沢千秋・川上智子（野間教育研究所事務局）

内容：（1）西山伸研究員「1960年代前半の大学管理問題をめぐって—1950年代との比較もいれながら—」

大学管理法案 1950年代からの変遷（表作成）

- ①国立大学管理法案（1951. 3. 7） ②大学管理法案要綱(案)（1953. 2. 11）
- ③国立大学協会第一常置委員会中間報告（1961. 11. 17）
- ④日本学術会議 大学の管理制度についての勧告（1962. 4. 27）
- ⑤国立大学協会 大学の管理運営に関する中間報告（1962. 9. 15）
- ⑥中央教育審議会 大学教育の改善について（中間報告）（1962. 10. 15）
- ⑦国立大学運営法案（1963. 1）

法律の目的、大学運営の基本、学長（職務・選考方法）、副学長、評議会、教授会
学外者を含む機関、国立大学協会など 各項目についての比較

（2）鳥居和代研究員「鎌倉市腰越の地域的変容」

- ・腰越小学校のネサヨ運動の歴史的背景・要因を分析・考察するため、1939年に腰越町が鎌倉町と合併して鎌倉市が誕生するまでの経緯を概観する。
- ・鎌倉市の誕生と腰越 『鎌倉議会史』より
鎌倉町では1930年代半ばから市制施行を要望する声広がる
→本郷・大船・深沢・村岡・片瀬・腰越の6ヵ町村を合併する方針
賛意を示したのは腰越のみ（片瀬・村岡は藤沢町と合併）
（戦後、鎌倉市は1948年深沢村・大船町と合併し市域を拡大させていく）
- ・神奈川県『腰越漁村の実態』（1952年）
耕地が狭く人々が密集して暮らしている 湘南の避暑地、避寒地、別荘地
人口密度が高い 1930年代半ば以降から50年代にかけて人口の増幅も大きい
「水産業」の激減と「公務自由業」（外来の移住者）の著増
⇒漁業・水産加工業にかかわる人々はマイノリティに
腰越の漁業従事者は、一本釣による小規模な家族労働により生計を営む人々が多数

- ・次回研究会 2022年12月16日（金）13:00～
- ・次々回研究会 2023年1月27日（金）13:00～